

= 祈りの絆 =



【お知らせ】4月より、災害対策本部は「東日本大震災支援委員会（臨時委員会）」と改称し、現地支援委員会（臨時委員会）と共に連携して働きを進めていきます。連盟の災害対策に関する情報は、連盟ホームページをご覧ください。

<http://www.bapren.jp/>

■遠野ボランティアセンター ～被災地訪問・ある冬の日～

専任スタッフ・佐藤 浩

皆さんの祈りに支えられつつ、岩手県にある遠野ボランティアセンター専任スタッフとしての働きをさせていただいています。遠野ボランティアセンターは初めての冬を過ごしていますが、冬期はボランティアも少なく、週に1～2回被災地を訪問しています。

今回はちょうどバレンタインデーの時期に重なりましたので、遠野に来てくださったボランティア2名と2月15日には「1日遅れのバレンタインデー」と称して、私たちが関わり続けてきた大槌町小釜第4仮設の方にチョコレートを配ってきました。全部で64戸。そこにグループホームに入っておられる方10名分、また同様に被災されながらグループホームで働いておられる方分も併せて80個のチョコレートを用意し、配りました。

一軒一軒回ると元気に返事をしてくれますし、「玄関に置いてって」と声だけで返事をされる方もいます。それはボランティア慣れしたり、めんどくさいからと私たちがぞんざいな扱いを受けているのではなく、年齢的な問題や身体に負われている負担のために玄関まで出てくることすら大変な方がたなのです。特に寒さが厳しいこの季節ではなおさら身体が動きません。声だけでも元気なことを確認できるとホッとします。返事がな

いと心配で、電力計が回っているかなど確認し、隣近所の方に声をかけて無事を確認することもあります。被災者の方がたは、一日も早い春の訪れを心待ちにしています。



仮設住宅の方がたにチョコレートをお配りする。
下の写真は活動に参加した踊真一郎牧師

■郡山コスモス通り教会 支援報告

現地支援担当・金子千嘉世

郡山コスモス通り教会は3月11日の地震で会堂、牧師館の建物が被害をうけました。特に、牧師館の屋根瓦がずれて、ヒビがはいっていたり、瓦止めがとれているものもたくさんあります。震災後、即、業者に修理をお願いしたのですが、福島地区は瓦職人が不足しており他県からの応援も受けることができません。なぜなら、福島県全体が原発事故の影響で今も放射能の線量が高く、被災中だからです。そのような訳で瓦の修理の順番がいつ回ってくるのかめどがたちませんでした。そのことを知って川崎教会の伊藤光雄牧師と一級建築士の古川力兄が奮闘してくださり、岐阜で瓦職人を見つけてくださいました。このことをきっかけに、川崎教会の壮年会の方がたが、支援物資を収納する為の倉

庫設置と、教会の回りの草を撤去し表土を削るボランティアを申し出て下さり、1月27日に9人の壮年の方がたがきてくださいました。28日、朝8時に教会に集合し、午後4時まで倉庫の床を張る作業、支援物資収納、そして、会堂回りの草を抜いたり表土を削って精一杯働いて下さいました。その日は、粉雪が舞うとても寒い一日で、土が凍っており思うように表土を削ることができませんでした。「また春に来る！」と言いつつ、帰って行かれるその後ろ姿は何ともかっこよく素敵でした。この日は、女性連合の副会長の平良民枝さん始め3名の女性達も駆けつけてくださいました。今まで、女性連合のあいあいプロジェクトを通し、のれん、冬物の衣類、ペットボトルに入ったお米、洗剤、ラップ、クリスマスクッキー、湯たんぽ等等、たくさんさんの支援をいただきました。どれほど、その支援物資を仮設に住んでおられる方がたがよるこばれたことか。また、支援に向かう教会の励みになっていることか。言葉では言い表せません。送られてくる荷物を前に、そして、寒い中全力を注いでくださる壮年の方がた、また全国の皆さまが献げてくださる献金を通し、主にある仲間がいることへの喜びと、感謝。そして、協力伝道を通して主の御業が起こされていくその恵みを見せていただいています。本当にありがとうございます。そしてこれからよろしくお願いいたします。

■これからの活動の展開

2011年3月11日14時46分18秒、宮城県牡鹿半島、東南東沖130kmの海底を震源として発生した東北地方太平洋沖地震からもうすぐ1年を迎えます。東北地方連合の諸教会、伝道所におきましては、1年目のこの日の礼拝を「東日本大震災を覚える礼拝」として献げていくことを呼びかけています。ぜひ、皆さまの教会でも、震災を覚えて東北の諸教会の方がたの思いを重ねて礼拝を献げてください。現地支援委員会が作成した「祈りの言葉」が送付されます（2月22日全国発送）。ぜひ、用いてくださり、祈りを合わせていただけると感謝です。

■募金の使い方

全国諸教会、伝道所。そして世界の各地から献げられる募金を心より感謝いたします。今までの献金用途に加えて、郡山コスモス通り教会建物修理費、福島の子どもたち2週間避難プロジェクト（次回に詳細説明）。子育てサークルのためにも使わせていただきます。下記の祈りの課題をぜひ継続してお祈りください。



郡山コスモス通り教会支援の交わり

●●●祈りの課題●●●

- ① 震災後一年を迎える被災地の方がたの思いが支えられ、悲しみと向かいあうことができますように。
- ② 被災地にある教会の仮設支援の働きが教会の業になっていきますように。また、悲しみと向かいあう方がたに寄り添うことができますように。
- ③ 原発事故が一日も早く収束し、福島の方がたが安心した生活を送ることができますように。
- ④ 福島の子どもたちの健康が守られますように。
- ⑤ 遠野ボランティアセンターの働きが整えられていきますように。

【東日本大震災緊急救援募金のお願い】

1月末募金総額 146,279,557円

内、海外から69,656,104円が寄せられています

送金先：郵便振替 00140-9-180881 「宗教法人日本バプテスト連盟総務部」

※「東日本大震災募金」と明記してください。「東北地方太平洋沖地震募金」「東北関東大震災」でも結構です。

※募金は極力、教会単位でご送金ください。海外からの募金は別口座になります。総務部までお問い合わせください。

2011年度募金の目標総額は1億3000万円です。使途の目安は①被災教会・教会員へのお見舞い／教会建物支援（30%）、②被災地支援（50%）、③現地スタッフ／ボランティア活動費／事務局費（20%）として用いられます。すでに目標額に達していますが、2013年度までの3年間で1億7000万円の募金目標総額が昨年の定期総会で決まりました（2011年度1億3000万円、12年度2000万円、13年度2000万円）。4月以降もぜひ、本募金のためにご協力ください。